



SHOKEI



SHOKEI

2016
507

「尚絅学院募金事業」のご報告



中学校・高等学校／入学式

「尚絅学院募金事業」のご報告

輝き

中学校・高等学校合唱部

教職員エッセイ 梅の花

子ども学科教員／相馬 亮

卒業生コラム はばたき

2000年 尚絅学院大学女子短期大学部生活科学科 卒業
ヨガインストラクター / Ship street café オーナー
／早崎 陽子さん

今号の言葉 宗教主任からのメッセージ

情報掲示板 学校行事報告、同窓会コーナー
退任者のご紹介、新任者のご紹介



2016年度 オープンキャンパス案内

多くの皆様のご来場、お待ちしております!!

6/25(土) 12:30~16:00 大学紹介・授業体験・学科オリジナル企画・入試対策講座・キャンパスツアー・先輩との懇談・個別相談 等

7/23(土) 10:00~15:00 大学紹介・授業体験・学科オリジナル企画・入試対策講座・キャンパスツアー・先輩との懇談・個別相談・学生企画・保護者対象セミナー(就職・学費)・保護者対象公開講座・学食ランチ体験・エラオ・パトリックホーム公開・課外活動紹介・教職課程模擬授業 等

8/6(土) 10:00~15:00

10/15(土) 10:30~16:00 大学祭同時開催 大学紹介・学科オリジナル企画・入試対策講座・キャンパスツアー・個別相談・Web出願説明会 等

10/16(日) 10:00~14:30

尚絅学院大学 入試広報課
TEL▶ 022-381-3311
FAX▶ 022-381-3325
E-mail▶ koho@shokei.ac.jp
http://www.shokei.jp/

詳細は、HPをご覧ください。

尚絅学院大学 **環境構想学科**

来て見て触って楽しめる
「環境マルシェ」開催のお知らせ

日時 2016年6月26日(日) 11:00~15:00(予定)

場所 サンモール一番町商店街

概要 環境構想学科の企画で、環境にかかわる様々な仕事や社会の取り組みを知ってもらおうというイベントを行います。サンモールのアーケード内に、服飾企業が取り組む衣類のリサイクル、省エネ省資源に取り組むオフィス、エネルギーの自給自足を目指すNPO、森や生きものを守る仕事などを紹介するブースや、環境に対する高校生の取り組みを紹介するブースなどがマルシェのお店のように並びます。環境配慮商品の展示や販売のブース、体験型のブースもあり、見て触って楽しめるイベントです。ぜひお越しください。

おくやみ

小野寺 正美様(85歳)
(短大英文科昭和28年卒業生)
1月16日逝去されました

菊地 秀雄様(79歳)
(中高教員 熊谷千鶴様ご尊父)
1月28日逝去されました

千葉 貞幸様(70歳)
(大学・健康栄養学科実験助手 千葉元子様ご岳父)
2月3日逝去されました

前田 ツサ様(91歳)
(大学・こども学科教員 前田有秀様ご祖母)
2月14日逝去されました

赤司 正子様(82歳)
(経営管理 事務職員 山下とも様ご祖母)
2月17日逝去されました

上西 常夫様(81歳)
(学院評議員 上西則子様ご主人)
2月19日逝去されました

平山 公子様(89歳)
(大学・人間心理学科教員 太田健児様ご岳母)
3月1日逝去されました

丹野 太郎様(89歳)
(顧問・元理事)
3月21日逝去されました

平澤 ミキ様(100歳)
(中高教員 平澤和昭様ご祖母)
4月20日逝去されました

尚絅学院後援会は、「尚絅誌の発行」と「学院への援助」を行っている支援団体です。学院を応援して下さる方ならどなたでもご加入いただけますので、ご協力の程お願い申し上げます。

学院への援助と共に尚絅誌が届きます。(年6冊 5回発送)

5月 7月 9月 12月 2月

※9月のみ通常号・入募集特集号同時発行

郵便振込口座NO **02230-3-2116**

年会費 **2,000円/年** 納入方法

数年分をまとめてのお申し込みも、お待ちしております。 手数料無料の振込用紙がございますのでご利用ください。

※尚絅誌購読中の方で、氏名・住所等変更された場合は、ご連絡ください。
※記事を読んでの感想・懐かしい思い出のお写真、楽しい情報等もお待ちしております。
お手紙・おハガキ・TEL・FAX・E-mailにてご連絡ください。

尚絅学院後援会事務局

〒981-1295 宮城県名取市ゆりが丘4-10-1
TEL**022-381-3342** FAX**022-381-3467**
U R L: <http://ap.shokei.jp/dk/>
E-mail: koenkai@shokei.ac.jp

編集委員 徒然日記

中学・高等学校では、新校舎になり初めての入学式が執り行われました。昨年12月に地下鉄東西線が開通し、国際センター駅から尚絅まで徒歩圏にあり、とても便利になりました。恵まれたアクセスと新校舎でフレッシュな生徒達の元気な姿を見ると、「神様より選ばれた生徒たちが尚絅で3年間有意義に過ごすことができますように!」と思わずにはいられません。(T・S)

中高建設計画も後半の工程が進行し、いよいよ最後の1年という段階となりました。

まず、昨年中には広瀬の旧校舎（南校舎、中校舎、礼拝堂）の解体を終え、年末から体育館の工事にとりかかっています。さらに、4月には北校舎の解体を行ない、広瀬グラウンドの工事には5月くらいから着手する予定です。

新体育館は、校地の南西側の角に建築中で、1階には駐車場と剣道場、2階にはメインアリーナと教官室やシャワー室等、3階にはサブアリーナを配置します。また、体育館の東側にはテニスコート二面、北側にはソフトボール場と弓道場が整備されます。なお、澁橋から見ると、県道を挟んで両側にポリウムのある建物が並ぶこととなります。

最後の工程は、9月以降に予定される現体育館の解体です。解体後は、200mのトラックを整備する計画です。すべての工程は2016年12月末日に終了予定としています。

体育館建設と グラウンド整備計画

中学・高等学校事務長
菊池 雅人



大学礼拝堂 (2012年11月24日完成)



大学礼拝堂内部



中学校・高等学校 校舎 (2015年5月完成)



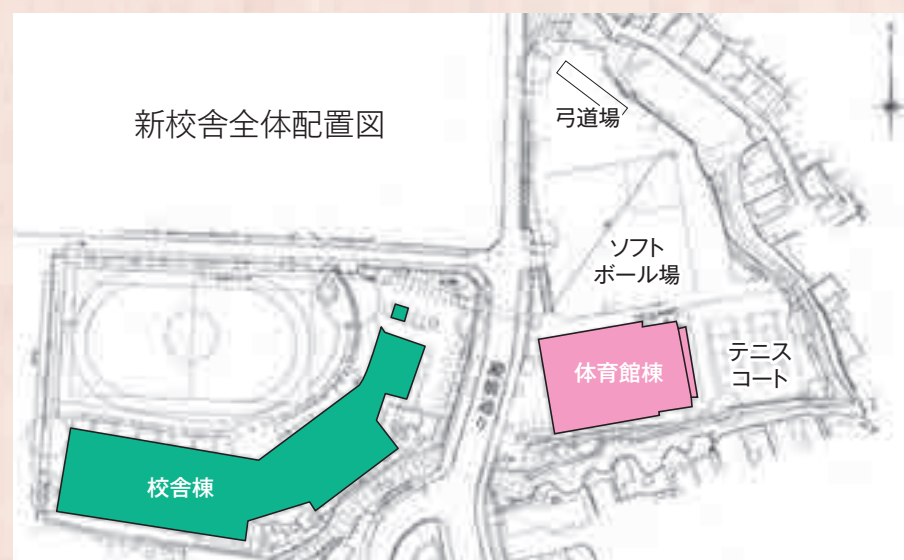
中学校・高等学校 礼拝堂内部 (2015年8月完成)



新体育館



体育館アリーナ



新校舎全体配置図

弓道場

ソフト
ボール場

体育館棟

テニス
コート

校舎棟



「尚綱学院募金事業」のご報告

120周年記念事業募金の御礼



尚綱学院院長・募金委員長

佐々木 公明

学院創立120周年を記念して、大学礼拝堂の建設と、中学校・高等学校校舎建設事業を実施する目的で、2012年1月～2015年12月の期間で募金をお願いしたところ、延べ1478件（1392名、86団体）の応募があり、総額84,098,953円（2016年3月31日時点）を集めることができました。募金にご協力いただいた方々に厚く御礼申し上げます。既に御案内のように、大学礼拝堂は2012年11月の献堂式以降、大学キリスト教教育の中核的空間として活発に利用されており、八幡地区に完成した中高新校舎では2015年8月から生徒達は躍動して、勉学に励んでいます。生徒達の教育環境を飛躍的に改善したこれら2つの建設事業を遂行できたことは学院にとって大きな恵みであり、感謝に堪えません。

今後、募金にご協力いただいた方々へ個別に御礼申し上げる方法を検討させていただきますが、まずは尚綱誌の紙面を借りて募金事業のご報告と御礼を述べさせていただきます。最後に、生徒・学生への給付奨学金の充実など、これからの学院の教育活動をより高める目的で、経常的に寄附金を募ることにしたいと考えていますが、皆様のご支援を引き続きお願いするものです。

ご報告

皆様のご協力に心より御礼申し上げます。

< 募金実績 >
1,478件 **84,098,953円**
(2016年3月31日現在)

1. 応募申込件数・金額

大学礼拝堂	493件	27,205,975円
中高校舎	431件	17,364,962円
指定なし	721件	39,533,016円

2. 寄付区分別内訳(人数・金額)

同窓生	468名	9,293,937円
-----	------	------------

在校生父母

大学	328名	3,883,000円
高校	248名	3,188,000円
中学	27名	525,000円
幼稚園	10名	151,000円

教会

教会	21教会	1,015,670円
企業	62社	13,140,000円
一般・学友	12名	647,586円
旧役員・旧教職員	126名	16,699,000円

役員・教職員・非常勤講師

理事・評議員	30名	10,250,000円
大学教職員	84名	9,136,000円
中高教職員	39名	2,495,000円
幼稚園教職員	6名	363,000円
経営管理部職員	15名	1,035,000円

同窓会

同窓会	10,276,760円
尚学会	2,000,000円

(2016年3月31日現在)

尚綱学院は、これまで教育環境の整備の充実に努めてまいりました。2012年1月～2015年12月の期間で行われた建設整備事業募金についてご報告を申し上げます。

ヨガインストラクター / Ship street café オーナー

早崎 陽子さん

2000年 尚綱学院大学女子短期大学部生活科学科 卒業

〔卒業生コラム〕

habataki

はばたき

vol.41

さまざまなことに興味を持ち、
「好き」の気持ちを大事に突き進む

尚綱卒業後どんな経過をたどり 現在の仕事につきましたか？

短大時代は「空間をデザインする事」に興味があり、建築科コースで空間の設計や住宅環境について学び、アメリカ短期留学も自身の進みたい方向性を確信する大きなきっかけの1つだったと思います。現地の建物等、一つ一つのデザインがとても新鮮に目に映り、そのスタイリッシュさや色使いなどに圧倒され、また飲食店の雰囲気や、食事の盛り付け方へのデザインにも魅了されました。その時、自分の中で湧きあがった「この感覚だ!!」という想いは今でも、思い出すとわくわくしてしまう程です。

卒業後3年間家電商品や住宅まわり等を取り扱う総合企業で勤務し、その後大好きだった雑貨&カフェで働きながら、接客、料理を担当し、沢山の本を見て勉強していました。

その頃出会ったのが、常に動いていくヨガ「アシュタンガヨガ」で、外側から動かす事で、内側へと自然につながり、最終的には強いメンタルを作っていくというもので、私はその「ヨガ」に、すっかりはまっていました。

今の自分をしっかりと受け入れて、進み続ける事の大事さを感じた私は、NYへヨガを学びに行き、インストラクターとなりました。

同時に「食」の重要性も認識し、VEGANというお肉や魚、乳製品類を使わずに調理した食のスタイルとRawfood(酵素を沢山取る食のスタイル)の要素も加えたVeganカフェをオープンさせました。

この仕事をして見えてきたこととお聞かせ下さい。

在学中学んだことや経験した事が今の自分に繋がるとは思っていませんでしたが、私は「これが好きだ!」という自分の思いを大事にし、信じ、進んできました。

自分自身としっかりと向き合うことで、ずっと輝いていられるのだと感じ、その為にも「今」その瞬間瞬間を大切に、楽しく過ごしていきたいと思っています。

2000年	尚綱学院大学女子短期大学部生活科学科 卒業
同年	松下パナソニックシステム(働勤務)
2003年	退社、その後雑貨店やカフェで勤務
2009年	ヨガインストラクター(Eve イーブ)として活動
2010年	NYにてライセンス取得 (Jivamukti yoga 正式指導資格、全米アライアンス RYT200認定指導者)
2010年	Ship street café オーガニックカフェオープン 現在に至る



東北ヨガフェスティバル参加者と



レッスン中



プロデュースしたメニュー

早崎さん関連のHPの案内

ShipStreetCafé ▶ <http://life-thyme-plus.com>
Yogacco ▶ <http://www.yogacco.com>
HOLTyogaSTUDIO ▶ <http://holt.jp/sendai/>

輝き

Vol.6

中学校・高等学校合唱部

私たちは中学生と高校生が共に活動を行っていますので、その年齢差は最大で6歳にもなるわけですが、上級生は下級生の面倒をよく見、下級生は先輩の背中を見、お互いを高めあいながら毎日活動に励んでいます。



日々の練習では部長を中心に各パートリーダーが核となり、自主的に練習に取り組んでいます。大小合わせると、ほぼ毎月1回は本番がありますので効率よく練習をする必要があります。また特進、文理、総進、中学校と実質4コースの生徒で活動を行っているため、スケジュールの調整にも工夫が必要です。

時には意見がぶつかることもありますが、そのような時には話し合いを重ね、丁寧に問題を解決することに努めています。

昨年度からはコンクールへの参加復帰を決め、また練習の中には基礎体力向上のために運動を取り入れるなど、年々活動は活発化しています。

今後もこれまで先輩方が築いてこられたものを大切に、さらに良い部活動になるよう努めていきたいと思っています。

中学校・高等学校合唱部部長 柳瀬 そら

「私が絵を描く理由」

私は現在画家として絵を描いています。もともと油彩が専門でしたが、近年は鉛筆でモノクロームの世界を描き続けています。「モノがそこに在ること」を追究することが私のテーマです。

さて、私にとって絵を描く行為とは「生きた時間を記録すること」と考えています。鉛筆という画材の特性もあり、制作には大変な時間を要します。たった1枚の紙に数ヶ月も自分の時間を費やす時もあります。つまりそれは「自分と向き合う時間」。絵と対峙する中で「己は何者

であるのか」と自己へ問い続けながら、自分が生きた時間を絵に注ぎ込みます。私の作品には私の人生が詰まっているのです。

おそらく私にとって「絵を描くこと」は一種の宿命なのだと思います。呼吸をするように絵を描く。私は絵を描くことを通して、自分は「どう生きるのか」を模索し、そして自己の存在理由を探し続ける旅を一生続けていくのだと思います。私は「絵を描く」ことによって生かされている。そうあるために、今日も絵を描き続けています。

教職員エッセイ vol.41

梅の花

子ども学科 教員
相馬 亮



4月8日(金) 入学式



新校舎での記念すべき第1回の入学式で23名の新入生を迎えることができました。

生徒たちはこの瞬間から始まる、新しい学校生活への不安と期待でいっぱいでした。将来の夢や目標に向かって勉強や部活動を一杯頑張る、新しい仲間と互いに支え合える関係を築き、たくさんの思い出を作っていくことと思います。

「私たち新入生は、どんなことにも最後まで諦めずに全力で取り組み、尚絨学院の生徒としての誇りと自覚を持ち、充実した学校生活になるように努力することを誓います。」の誓いの言葉のように、有意義な中学校生活を過ごしてほしいと思います。

(中高教員1A担任 石川 仁)

宗教主任からのメッセージ



田所義郎

愛することのない者は神を知りません。神は愛だからです。
(ヨハネの手紙14章8節)

新約聖書が書かれた2000年前の当時、世界の共通語はギリシア語でした。最も多くの人々が使用する言語でイエス様の言葉は伝えられ、世界中に広がっていったのです。ギリシア語で「愛」を表す言葉には4つあり、特に神の愛を表すときには「アガペー」という言葉が使われます。その意味は値しないものを大切にする無条件の愛です。最初、聖書が日本語に翻訳された際には、「愛」ではなく「御大切」と訳されました。

私たちが他者を愛するには理由があります。例えば、「あの人は優しいから」「かわいいから」「かっこいいから」「能力が高いから」など。しかし、神様が私たちを愛してくださるのに理由はいらないのです。ただ神様は私たちの存在そのものを大切にしてくださるのです。

高等学校

2月13日(土)

JICA国際協力 中学生・高校生 エッセイコンテスト 2015



「JICA国際協力中学生・高校生エッセイコンテスト2015」(主催…独立行政法人国際協力機構)に本校より231作品を応募し、1年6組の近藤菜々恵さんの「本当の支援」が佳作、1年2組の郷古ひなたさんの「綺麗」が宮城青年海外協力協会会長賞をそれぞれ受賞した。また尚絨学院高校として学校賞もいただいた。2月13日に仙台メディアテークにて表彰式があった。

(中高総務部 松宮正樹)

情報掲示板

各学校からのお知らせ

入園・入学のフレッシュな笑顔。巣立っていく晴れやかな笑顔。校内にたくさんの笑顔があふれました。

幼稚園

3月15日(火) 修了式



幼稚園では3月15日(火)修了式。式では年長児50名の子ども達一人ひとりが、園長から証書を受けました。とても誇らしげで自信と喜びに満ちあふれた表情、堂々と証書を高くあげた姿に成長を感じました。

来賓の方々も沢山来て下さり、お祝いの言葉を下さいました。これからも神様に愛され、沢山の方々に支えられて過ごした日々を胸に、光の子としてあゆんでほしいと思います。

(幼稚園教員 清野正恵)

2016年度 中学校・高等学校入試状況

2015年度は新校舎の使用が始まったのに伴い、本校の募集行事には実に多くの児童生徒や保護者の皆さんにおいでいただきました。本校の教育環境の充実と通学の利便性が高まった「尚絨学院」を、これまでよりも広い層の方々に認知していただくことができたと思っております。

志願者を見ると中学校入試ではII期入試での志願者を伸ばすことができました。公立二貫校との併願を考える層へのアプローチが次年度の課題と言えるでしょう。一方高等学校は募集行事の活気の通り、志願者が2000名を超えました。中でも新しくコースとして独立する文理進学コースの志願者の多さが際立っております。

前述の通り、高校では3コース制がスタートします。また中学校では週六日制での学習習慣の確立と問題解決能力の育成をさらに推進していきます。2016年度はこれまでどおり活気ある生徒たちの様子をお伝えするとともに、信頼される進路指導、そして体育施設の整備を前面に出した募集活動を展開していきたいと考えております。

(入試広報部主任 熊谷千鶴)

中学校入試状況2016(定員30名)

中学校	志願者	合格者	入学者	男子	女子
I期	24	20	20	4	19
II期	3	3	3		
2016年度計	27	23	23	4	19
2015年度	36	28	28	7	21

高等学校入試状況2016(定員240名)

※総合進学コースの合格者数は、併願合格を含みます。

高校	志願者	合格者	入学者	合計	男子	女子
総進学コース(120)	一般 347 推薦 60 尚絨中 14	339 60 14	45 60 14	119	22	97
文理進学コース(90)	一般 969 推薦 14 尚絨中 6	702 14 6	52 14 6	72	22	50
特別進学コース(30)	一般 768 推薦 2 尚絨中 2	367 2 2	24 2 2	28	9	19
2016年度計	2182	1506	219	219	53	166
2015年度	1876	1529	276	276	95	181

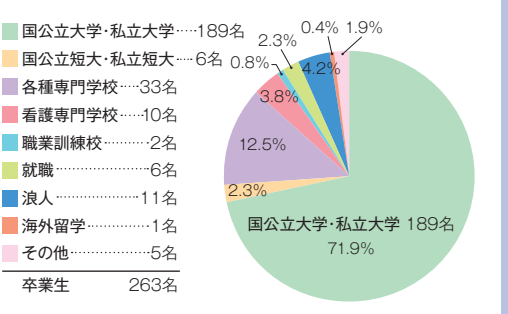
2015年度 高校3年生進路状況

就職状況の好調は引き続いており、就職希望者6名全員が就職を果たした。国公立大学では文系コースから宮城教育大学へ2名の合格者を出したことは快挙と言える。また、文理コースからも現役で4名の国公立大学進学者を出し、コース始まって以来最高の実績を上げた。県外進学決定者の割合は、年々増加傾向にある(13年…15.2%、14年…22.6%、15年…25.9%)が、もともと県外進学の傾向が高かった特進コースに、文理・文系コースも追随する動きである。より高い進路意識の表れとも言える。これらの結果の一方で、看護専門学校と各種専門学校の進学者数も前年度に比して増加しており、就職をより具体的に意識した進路決定者も多い。

一般後期日程での進路決定者は国公立の4名を合わせて16名となっているが、最後まで頑張るのも最近の尚絨生の特長である。卒業した全ての生徒たちが、後輩たちに誇れる充実した生活を送ることを期待したい。

(進路部主任 濱家博幸)

進路別状況 (2016.4.1現在)



国公立大学・私立大学 189名 (71.9%)
国公立短大・私立短大 6名 (2.3%)
各種専門学校 33名 (12.5%)
看護専門学校 10名 (3.8%)
職業訓練校 2名 (0.8%)
就職 6名 (2.3%)
浪人 11名 (4.2%)
海外留学 1名 (0.4%)
その他 5名 (1.9%)

卒業生 263名

中学校

3月5日(土) 学習発表会



3月5日に中学校で学習発表会がありました。初めは音楽発表で、1年生がアルトリコーダー、2年生はバイオリン、3年生は合唱をしました。次に体育発表で、3年生のみなさんがダンスや剣道の演武を披露してくれました。最後がPBLの発表でした。

私は、授業で初めてバイオリンを持ったとき、本当にうまく弾くことができたのか不安でした。しかし、練習をたくさんしたので、本番ではきれいな音で弾くことができましたのでも嬉しかったです。PBLの発表では、発表者が自分の言葉で説明できていたのですね。いなと思いました。

来年の学習発表会も良いものができるよう頑張りたいです。

(2年 八鍬舞香)

中学校

3月17日(木) 修了式



去る3月17日、うららかな春の日差しの下、中学校の修了式が行われ、26人が中学校の課程を修了しました。今年は初めて修了生が賛美歌をステージ上から列席者に向かって歌いました。いつも恥ずかしがって声を出せずにいた生徒もみんな、大きな声で賛美することができました。しっかりと声で歌う成長したわが子の姿を目の当たりにして、保護者の方々とてもいい修了式だったと感動していらっしゃいました。修了生たちはこれから始まる新しい生活でも思い切ってどんどん活躍してくれると思います。修了おめでとうございました。

(中学校主任 戸嶋慎)

3月1日(火)
卒業式



証書授与後のクラス代表者によるスピーチは、保護者や仲間また学校への思いや感謝を自分の言葉で話したもので、8組まで続く中で多くの感涙を誘った。答辞も、自負心を抱きつつ成長を誓う凛とした内容であり、後輩にもそうしたいと思いが届くものであったと思う。練習にはなかった、「ありがとうございました」と礼をし退場していく生徒たちを見送りながら、心に響く卒業式だと感じた。素晴らしい子どもたちを送つてくださった保護者の皆様に感謝申し上げます。
(3学年総合進学コース主任 佐々木大輔)

4月8日(金)
入学式



春の柔らかな日差しの中、高校1年生219名が入学式に臨みました。新礼拝堂での初めての入学式は、総合進学コース4クラス、文理進学コース2クラス、特別進学コース1クラスの男子53名、女子166名です。校長先生から、『学校生活は楽しいことばかりではない。厳しさや辛さを乗り越える魔法は希望や目標を持つことと、一緒に乗り越える真の友をつくること、人生の節目として実り多いものとなるよう』との激励の式辞を頂き、生徒代表が、『歴史と伝統の本校生徒となることを誇りに、勉学に励む』ことを誓って高校生活をスタートさせました。
(1学年主任 佐藤智子)

3月26日(土)
総合人間科学研究所主催「地域研究成果報告会」



時より尚綱学院大学生涯学習センターにおいて「地域研究成果報告会」が開催されました。報告は表現文化学科秋月高太郎先生より「キャラクターを活用した名取市における地域振興の研究と実践」、人間心理学科水田恵三先生より「震災後の生活復興感の研究」、健康栄養学科野田奈津実先生より「名取市特産のセリの利用拡大に向けた基礎的研究」セリの嗜好性を生かした調理・加工及び保存法に関する検討」の3テーマの研究成果の説明がされました。各研究の資料展示ブースとセリの特色を生かした試食コーナーには多くの方が足を運ばれ、あらためて地元名取への関心を高めていただきました。報告会は研究テーマを通して市民の皆さんと語り合い触れ合う貴重な機会となりました。ご参加いただいた34名の名取市民の皆様には感謝申し上げます。
(教育研究支援課 大山均)

3月18日(金)
卒業式



春晴れの3月18日、仙台サンプラザホールにおいて2015年度の卒業式が挙行され、卒業生387名、修了生4名が学び舎を巣立っていきました。学長の式辞では、ささやかでも誰かのために役に立ちたいという思い、誰かのために祈ることの大切さ、そして結果を恐れずにベストを尽くす勇氣と確信があれば、たとえ今は思い通りにならなくとも、前を向いて歩んでほしいとのメッセージが語られました。
卒業生の佐藤圭さんからは、先生方をはじめ多くの方々に支えられた感謝が、修了生の千葉昭子さんからは、これからの仕事に役立てていきたいとの抱負などが語られました。大学で学んだ最善の道を貫く知恵と力を発揮し、神様が前途を祝福してくださいますよう、お祈り申し上げます。
(大学事務部長 堀籠洋二)

大学
学習サポート
センターについて



2015年度後期より、学習サポートセンターが開設されました。学生のサポートを担う一環として英語コースと日本語文章作成コースが開講され、受講学生は熱心に講座を受け、担当講師の手厚い指導により、両コースとも学生の学力向上につながりました。昨年受講した学生からは、『英語の授業以外に定期的に英語の学習時間を確保することができた。自ら申し込んで参加しているので、意欲を強く持つて学習することができた。』『論理的な文章構成能力が上ったと思う。自分の考えをまとめてアウトプットする面白さを知った。先生が個別に指導してくれるので、自分の文章の質を知ることができた。』との意見がありました。学習サポートコースは本年度も継続して開講されます。
(教育研究支援課 橋本美奈子)

4月4日(月)
入学式



2016年度入学式が仙台サンプラザで挙行されました。学部生大学院生合計423名の新入学生を迎えました。式は各学科長から一人ひとりの名前が読み上げられ、合田学長による入学許可宣言があり、式辞では、「本日は恵みの雨。尚綱で新しい東北の未来を支える総合的な人間力を身につけてほしい。」また本学院の初代校長アニー・ブゼルの言葉「GOODNESS良き志」を紹介し、「心の内にGOODNESSの伝統を共有し、地域の振興のために学んでほしい。皆さんがその主役である。」と述べられました。佐々木名取市長の祝辞では、「これから皆さんは多くの選択を迫られる。情報の価値をどう判断するかが大事である。このことを心にかけて人生に役立てて欲しい。また、名取市の復興に対する先輩の活動を引き継いでほしい。」と述べられました。入学宣誓では代表の子ども科の高橋かのさん、研究科の佐藤真奈美さんが力強く宣誓を行いました。
(大学事務部長 佐々木寿徳)

連携交流課・海外
4大学との協定調印



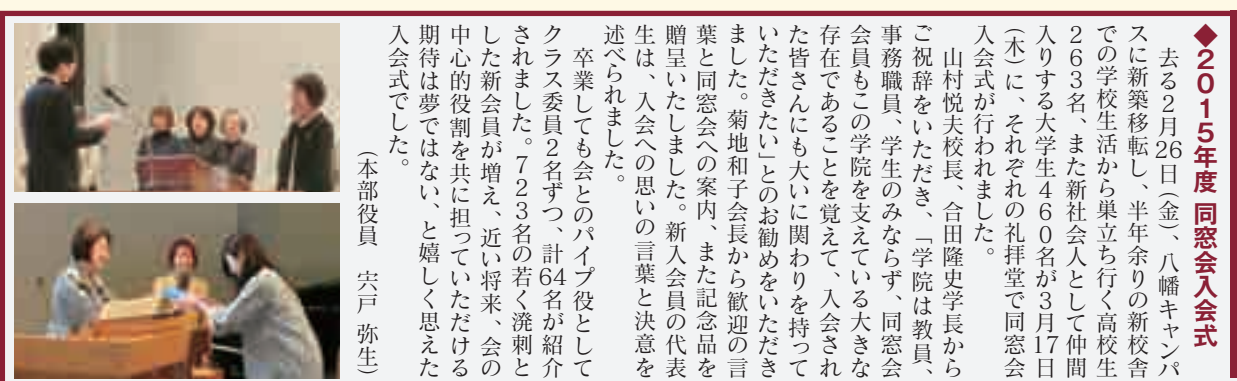
尚綱学院大学はジャドソン大学(米国)、大連理工大学(中国)に続き、新たに海外の四大学と協定を締結しました。
弘光科技大学(台湾)や培材大学(韓国)とは、語学研修・現地文化体験などで構成されたサマープログラムへの参加、ハバロフスク地方芸術専修大学(ロシア)とは音楽を中心とした芸術・文化研修、共同研究等の交流を予定しています。
また、シカゴ心理専門職大学院(米国)との協定により、学生との教育交流や共同研究だけでなく、大学院総合人間科学研究科心理学専攻に2016年度より新設される「臨床心理学コース」においても、更なる教育・研究への質の向上につながることを期待しています。
(連携交流課 佐々木真理)

「専門フード
スペシャリスト」
優秀賞2名受賞



昨年12月20日に行われた日本フードスペシャリスト協会主催の平成27年度専門フードスペシャリスト(食品開発)資格認定試験において、健康栄養学科を今春卒業した對馬桃香さんと川股真理子さんが優秀賞を受賞しました。
専門フードスペシャリスト資格は、従来のフードスペシャリスト資格を取得済みまたは取得見込みの人が受験する、より専門的で実用性の高い資格で、2014年度から食品開発及び食品流通・サービスの2部門の資格認定試験が始まりました。
健康栄養学科は協会が認定したフードスペシャリスト養成機関で、所定の科目を履修し単位を修得した学生は4年次にフードスペシャリスト資格と専門フードスペシャリスト資格認定試験を受験することができます。
(健康栄養学科教員 野田奈津実、布木和夫)

同窓会コーナー



◆2015年度同窓会入会式
去る2月26日(金)、八幡キャンパスに新築移転し、半年余りの新校舎での学校生活から巣立ち行く高校生263名、また新社会人として仲間入りする大学生460名が3月17日(木)に、それぞれの礼拝堂で同窓会入会式が行われました。
山村悦夫校長、合田隆史学長からご祝辞をいただき、「学院は教員、事務職員、学生のみならず、同窓会会員もこの学院を支えている大きな存在であることを覚えて、入会された皆さんにも大いに関わりを持っていただきたい」とのお勧めをいただきました。菊地和子会長から歓迎の言葉と同窓会への案内、また記念品を贈呈いたしました。新入会員の代表生は、入会への思いの言葉と決意を述べられました。
卒業しても会とのパイプ役としてクラス委員2名ずつ、計64名が紹介されました。723名の若く澁刺とした新会員が増え、近い将来、会の中心的役割を共に担っていただける期待は夢ではない、と嬉しく思えた入会式でした。
(本部役員 宍戸弥生)

◆2015年度第1回幹事会開催
3月12日(土)午後1時より幹事会が八幡校舎大会議室にて行われました。34名の参加者でした。
開会礼拝から始まり、学校関係者のご挨拶では「尚綱は大変皆さんに支持され人気のある学校」というエピソードを伺いました。
次に年間活動報告として今年度の会計決算報告、来年度収支予算案があり、いくつかが活発な意見が聞かれました。支部報告では各支部長さんの熱心な活動内容をお話しされました。連絡と報告の部では、むつみのくさり復刊第11号発刊についてや、同窓会グッズの売上、来年度総会について報告がありました。
久しぶりに会う方々もあり、和気あいあいとした幹事会でした。今後も活性化する同窓会を目指して頑張っていきたいと思いました。
(本部役員 村主由美)

◆同窓会総会のお知らせ
日時 5月21日(土)10時~14時
場所 江陽ランドホテル
●説教者 北三番丁教会 江連実牧師
●アトラクション 民俗舞踊クラブもくもく
★お問合せ 同窓会事務局 022-264-5830
◎特別寄付金の氏名掲載については2月号でご報告させていただきます。

退任者のご紹介 (2016年3月31日付)



中学校・高等学校
校長 山村悦夫(勤続3年)

校長在職3年という短い期間ではありませんでしたが、多くの方々のご助力により、何とか職務を全うすることができました。お世話になった皆様に、心より御礼申し上げます。

3年間で最大の思い出は、なんと言っても新校舎の建設と引越です。

不自由な環境にも拘わらず、一生懸命頑張ってくれた教職員と生徒には感謝の言葉しかありません。

そして、新校舎へ初めて生徒が入って来たときの感激は未だに忘れられません。

「この校舎にはうちの生徒が似合っている。本当に、素敵に、似合っている！」

涙がこぼれました。

この3年間で、高校の志願者数は順調に増え、雰囲気も前向きに変わりました。「尚綱の時代」と言っても過言ではなく、この流れが持続するように祈っています。尚綱学院が見つめるのは「3歩前」です。

新任者のご紹介 (2016年4月1日付)



ふじくら しんいち
藤倉 眞一
中学校・高等学校 校長
筑波大学大学院修士課程
教育研究科 修了

新任者のご挨拶

この3月までの30数年間、宮城県内の公立学校で勤務してきましたが、この度縁あって、尚綱学院中学校・高等学校に赴任することとなりました。高校時代に、瀬橋に至る尚綱の坂を、毎日自転車で行き来した思い出が、昨日のことのようによみがえってきます。高校1年の時、初めて触れた聖書の価値観に魅せられ、キリスト教信仰を持つに至ったことが、この尚綱学院に赴任する縁となったことを思うと、神の導きとは実に不思議で面白いと感じずにはいられません。

尚綱学院中学校・高等学校は、その教育目標に「キリスト教を土台として、人間のあり方を探り、他者と共に生きる」人材の育成を掲げています。喜びを持って人のために働き、人のことを思いやり、他者と共に生きる心を育てる。そんな学校づくりを教職員の方々と共に目指していききたいと思っています。

退職専任教職員

大学	健康栄養学科	教授	大下 健幸	(勤続15年)
大学	健康栄養学科	教授	和泉眞喜子	(勤続34年)
中学校・高等学校		教頭	斎藤 公夫	(勤続37年)
中学校・高等学校		教諭	野澤 初恵	(勤続35年)
中学校・高等学校		教諭	五十嵐千春	(勤続10年3ヶ月)

人事 (2016年4月1日付)

■任用

大学副学長	水田 恵三
中高校長	藤倉 眞一
中高校頭	佐々木達也

■昇任

大学子ども学科 准教授	相馬 亮
大学 環境構想学科 准教授	馬場たまき

■委嘱

(特別任用教員) 大学 表現文化学科 教授	大野 実
大学事務部 連携交流課 生涯学習コーディネーター	庄司 則雄

■監督職位者

大学 進路就職部長	大野 実
中高 総務部主任	松宮 正樹
教務部主任	田嶋 誠
中学校主任	戸嶋 慎
高校1年主任	佐藤 智子
総進コース主任	濱家 博幸
(進路部主任兼務)	

■課長補佐

事務 経営管理部	熊谷 千鶴
財務課長補佐	佐藤 光一
大学事務部	半澤 泰也

■配置転換

事務 経営管理部 総務課	鈴木 美和
大学事務部 政策企画室	照井 健也
教務課	伊勢 方博
学生生活課	山縣 洋太
進路就職課	岩崎 真弥
連携交流課	佐々木 未央
教育研究支援課	石垣 恵理
齋藤 陽子	齋藤 陽子
阿部 千恵子	阿部 千恵子
猪股 千穂	猪股 千穂

■異動

中高事務室	
幼稚園教諭	

※専任教職員の方のご紹介とさせていただきます

皆様のご芳心に心より感謝申し上げます。

2016年度卒業生 後援会入会者ご芳名(敬称略)

大学・健康栄養学科	高橋美里	村上達哉	岡本恵里子
小関澄玲	佐藤主	佐藤加奈	
佐々木葵	貝津美樹		
人間心理学科	菅井美貴	池田未奈	山岡麻友
鈴木琴美	佐藤寿子	原麻利乃	
川村優果			
表現文化学科	大井佑介	瀧口恵	中村絵莉香
大友秀晃	諸橋拓	松下悠里子	
櫻田智子			
現代社会学科	安住真紀	菅原悠貴	松野朱莉
齋藤愛	片平宏之	竹田克彦	
山家和田			
子ども学科	坂井仁美	千田藍加	真砂なつみ
徳富明良	村山寛明	小松美悠	
小室美咲			
高等学科	山口奏枝	氏家光	佐藤帆乃香
山口奏枝	長崎舞	一条未優	
青島葉月	齋藤風沙	寺門美菜	波谷智香
安田有花	渡邊敏尚	伊藤陽香	三嶋健太郎
愛宕典紘	伊藤仁美	井上ナオミ	
安達瑠夏	西山美季	佐藤楓	
齋藤優美			
後援会会費納入者(敬称略)			
賛助会員			
金五〇、〇〇〇円			
深見道子			

採用 (2016年2月1日付)



ささき ひろあき
佐々木 廣雄
経営管理部 財務課 事務員

採用 (2016年4月1日付)

井口美恵	上島芳子	半澤美恵子	橋本禮子	小山幸子	長橋たまき
後藤りん	今出幸子	松原美佐子	阿部嘉久	菊田典子	津田なつき
浅野純子	千田智恵	安藤美重子	山本博美	常盤妙子	門間恵美子
小林令児	菊池洋子	細谷美和子	伊藤浩子	星野幸枝	築館みちこ
小林永子	高橋雅子	一井あき子	松原直子	鈴木綾子	小野すゑの
柿崎千恵	辻久子	渡辺富寿子	堀内紀子	勝山栄子	鈴木美智恵
熊谷和子	勝井良子	平田チエ子	菊田弘子	渡邊良枝	鈴木恵里子
大槻千春	千葉寿子	平澤よう子	鈴木祐子	村井厚子	相澤ひろ子
丹野英機	松坂眞里	押永雅耶子	星徳子	高橋大志	柏谷志津子
渡辺恵子	河野瑛	遊佐ひでよ	阿部雄子	永瀬宮子	五十嵐宣子
平澤沙織	三戸節子	片岡多恵子	千葉眞	鈴木和子	菅野喜美子
齋藤静江	齋亮子	立沢千恵子	熊谷史子	色川道子	加藤とみよ
加藤宏子	堀みよ子	佐竹陽子	橘川孝	鏡久美子	六戸弘子
三浦充子	石井郁子	山下草子	宮城洋子	大島良雄	名取知子
日本基督教団仙台三番丁教会			玉澤洋子	金森大樹	木村富士雄
秋山妙子	倉澤範子				

金六、〇〇〇円	山内京子	金五、〇〇〇円	森千恵子	鈴木みゆき	齋藤綾子
			渡辺静枝	鈴木陽子	戸村千恵子
			佐藤志すゑ	近江節子	東海林茂子
金三、〇〇〇円	高橋心み子				
金二、〇〇〇円	小林邦子				
	奥村小枝子				
	大江田和子				
	山田とき子				
	内海奈保子				
	佐々木道子				
	高屋むつ子				
	柴田智恵子				
	坂田美奈子				
	齋藤美彌子				
	津田なつき				
	半澤美恵子				
	長橋たまき				
	門間恵美子				
	大友美恵子				
	細谷美和子				
	小野すゑの				
	一井あき子				
	渡辺富寿子				
	昆野喜根子				
	押永雅耶子				
	鈴木恵里子				
	平澤よう子				
	平田チエ子				
	粕谷志津子				
	遊佐ひでよ				
	長谷田美那子				
	立沢千恵子				
	菅野喜美子				

いしがき 石垣 恵理	えり 恵理	ささき 佐々木 未央	みお 未央	やまがた 山縣 洋太	ようた 洋太	むらまつ 村松 玲奈	れいな 玲奈	かとう 加藤 十大	みつひろ 十大	よこやま 横山 兼太郎	けんたろう 兼太郎	しぶや 瀧谷 洋平	ようへい 洋平	せの 瀬野 博紀	ひろき 博紀
大学事務部 教育研究支援課 事務員		大学事務部 連携交流課 事務員		大学事務部 学生生活課 事務員		幼稚園 教諭		中 高 保健体育科 教諭		中 高 英語科 教諭		中 高 理科 教諭		中 高 数学科 教諭	